

副専攻プログラム説明書

開設学部（学科）名〔教育学部(第二類)〕

プログラムの名称	(和文) 中等教育科学（数学）副専攻プログラム
	(英文) Secondary School Mathematics Education
<p>1. プログラムの紹介と概要</p> <p>中等教育科学（数学）プログラムでは、数学教育に関する高い学識と数学的な能力を兼ね備えた、中学校、高等学校の数学科教員の養成や、数学教育に関連した大学院に進学し研究者や高度専門職業人をめざす人材の育成を行っている。</p> <p>本副専攻プログラムの教育課程においては、そういった主専攻プログラムで提供している数学教育の原理、内容、方法が多様かつ系統的に学べるように、基礎的な専門科目7科目と発展的な専門科目1科目を提供し、それらの履修を通して、数学教育に関わる基本となる理論を概観し、数学教育とは何かについての基礎的知識が身に付くようにする。それにより、科学技術創造立国の基盤を担っている数学教育そのものについての理解を広めて行きたいと考え、本副専攻プログラムを開設する。</p>	
<p>2. プログラムの到達目標</p> <p>数学教育学及び数学内容学の学問体系のコア部分に関する基礎的な知識の修得が、本プログラムの到達目標である。</p>	
<p>3. プログラムの履修時期・要件</p> <p>(1) 履修開始時期とプログラム登録時期</p> <p>副専攻プログラムの開始時期は、2年次である。事前にプログラム登録をしておくこと。</p> <p>(2) プログラム選択のための既修得要件(履修科目名及び単位数等)</p> <p>既修得要件については設定しない。</p> <p>(3) 履修上の注意点</p> <p>教養教育科目の中の「基盤科目」8単位分（線型代数学Ⅰ、Ⅱ及び微分積分学Ⅰ、Ⅱ）を履修済みであることが望ましい。なお、教員免許の取得はできない。</p>	
<p>4. 教育内容・構造</p> <p>(1) 修了に必要な単位数</p> <p>提供される専門基礎科目14単位及び専門教育科目2単位の、合計16単位を履修すること。</p> <p>(2) 副専攻プログラムの構造</p> <p>本プログラムは、「数学教育学」系3科目と「数学内容学」系5科目の計8科目からなる。</p>	

5. 授業科目及び授業内容

①専門基礎科目（すべて2単位）

数理統計学概論（3セメ），数学教育学概論Ⅰ（3セメ），代数学概論（3セメ），幾何学概論（3セメ）
解析学概論（3セメ），数学教育学概論Ⅱ（4セメ），数学教育デザイン論（4セメ）

②専門教育科目（2単位）

解析学研究法Ⅰ（5セメ）

※ 各年度に公開されるシラバスを参照すること。

※ 履修表は「別表」を参照のこと。

6. 評価

（1）試験・成績評価

各授業科目における試験・成績評価基準に基づく。

（2）修了判定の基準

「5. 授業科目及び授業内容」に示す授業科目のうち，16単位すべてを修得すること。

7. プログラムの責任体制

責任者名等：中等教育科学（数学）プログラム担当教員会

8. プログラムの受入上限数

受入上限数については，制限なしとする。

9. プログラムの既修得単位等の認定単位数等

（1）他大学等における既修得単位等の認定単位数等

6単位まで認める。

（2）広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等

10単位まで認める。

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で，登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○副専攻プログラムで開設されている授業科目も，本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

別表

中等教育科学(数学)副専攻プログラム履修表

科目区分	授業科目	開設 単 位 数	学期別週授業時 数 (履修期)						要 修 得 単 位 数	開設 学 部	備考
			3 セ メ	4 セ メ	5 セ メ	6 セ メ	7 セ メ	8 セ メ			
専 門 教 育 科 目	基 礎	数理統計学概論	②	2					14	教 育 学 部	
		数学教育学概論Ⅰ	②	2							
		代数学概論	②	2							
		幾何学概論	②	2							
		解析学概論	②	2							
		数学教育学概論Ⅱ	②		2						
	数学教育デザイン論	②		2							
専 門		解析学研究法Ⅰ	②			2		2			
合計								16			

<履修上の注意>

1. 開設単位数欄の○印は必修を表す。
2. 専門基礎科目14単位、専門科目2単位を修得すること。